

フリガナ	マツモト イチロウ		学部 学科など	教育学部
氏 名	松本 一郎		職 名	准教授
			講 座など	自然環境教育講座
専門分野	・ 岩石, 鉱物, 鉱床, 環境学	その特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ かんらん岩の構成鉱物と鉱石鉱物の記載 ・ 河川および埋立堆積物の汚染(土壌汚染) 	
研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 『マントル鉱床学』 ・ 『河川・土壌汚染』 	その特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ マントルで形成されるクロム鉱床や白金族鉱床の成因を野外での地質記載、鉱物記載、および鉱物化学組成などにより研究 ・ 河川および埋立地の土壌の地質学的・地球化学的特徴を明らかにし土壌汚染のメカニズムとその自然および人為的背景を研究 	
可能な共同研究・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ テーマ・項目：火成岩類や鉱床の記載や成因に関する研究 土壌汚染の研究 ・ 要望事項：特に要望はありません。また、教育的側面から学校ビオトープ関連でも連携が可能です。 			
可能な科学技術相談	<ul style="list-style-type: none"> ・ 項目：火成岩類や鉱床（成因や探査）に関連した研究 土壌汚染の汚染源の特定や対策に関わる事項 			
キーワード	鉱物資源、かんらん岩、クロムスピネル、土壌汚染、河川堆積物			

* 研究のポイント

地球環境の捉え方

当研究室では、地球環境を2つの側面からとらえることで多角的でユニークな研究を目指しています。

2つの側面とは、

1) **地球の資源的側面**：

「**46億年**」かけて形成された地球の「**自然環境**」を
火成岩類や鉱物資源の成因の解明を通して研究しています。
それを解く鍵は、**岩石や鉱物**の中に詰まっています。

特に、地球がある元素（クロムや白金族）を「**濃集**」させるに至るプロセスの解明は、
資源の探査面・経済面からも大変重要です。加えて、地球の物理化学的進化を考える
うえでも不可欠な要素です。

2) **地球の環境的側面**：

「**数年～数十年**」かけて形成された地球の「**人為環境**」を
土壌汚染や河川堆積物の特徴の解明を通して研究しています。
それを解く鍵は、**堆積物や人類の生産活動**の中に詰まっています。

特に、人類の生産活動が土壌や河川に特定元素を「**拡散（汚染）**」させたプロセスの
解明は、土壌の浄化や対策を講じるうえで大変重要です。加えて、河川や地下水の本来
（自然的な）の地球化学的特徴を把握するうえでも貴重な資料となります。

教育面に関して、上記2つの側面を柱とし「地球と人類の共存」を目指すことのできる人材の育成を行っている。